

平成 22 年 9 月 24 日
日本学術会議 科学者委員会
学術の大型研究計画分科会
委員長 岩澤 康裕

学術の大型研究計画に関する調査（平成 22 年度）
—大型研究計画マスタープランの改訂—

1. 本調査の目的

日本学術会議では、科学者委員会の下に設置された「学術の大型研究計画検討分科会」において、学術研究を推進するに当たり、大型の施設を必要とする大型施設計画、あるいは多数の研究者の長期にわたる共同を必要とするなど大分野の根幹となる大規模研究計画について、我が国における企画・推進方策の在り方や、それらの方策を実現するためのシステムの構築に向けた検討を行い、平成 22 年 3 月 17 日に提言「学術の大型施設計画・大規模研究計画—企画・推進策の在り方とマスタープラン策定について—」を発出いたしました。本提言の目的・大型研究計画のリストアップ基準・検討の基本的考え方の詳細については、<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t90-2.pdf> をご参照下さい。本提言の作成にあたっては、学術の大型研究に関する第 1 回（平成 21 年 3 月）及び第 2 回調査（平成 21 年 6 月）のアンケート調査にご協力をいただきましたこと、厚く感謝申し上げます。

策定した大型研究計画のマスタープランは固定的なものではなく、国際情勢、学術環境、社会的要請などの俯瞰的な視点、各分野の研究者コミュニティにおける議論・検討の進展に鑑みて、継続的に評価・検討し、改定を行う必要があります。

そこで、この度、本提言に記載された大型研究計画マスタープラン 43 計画の修正及び、新たな計画の追加等アップデートを目的として、第 3 回目のアンケート調査を実施いたします。今回は、ウェブによるご回答をお願いしております。（43 計画については、<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-21-t90-2-2.pdf> をご覧下さい）。

2. 調査内容の取り扱い等について

調査結果は、国際対応も含め今後の我が国の大型研究推進の方策・体制等を検討する基礎資料として利用するものであり、予算への直接の反映等を意図するものではありません。

ただし、今後、科学・技術政策の検討や国際的な場面（G8 関係等）等において、大型研究計画に関する情報交換や議論が行われる可能性もあり、優劣等の判断につながらないように十分に配慮した上で、情報提供を行う可能性があります。

なお、本調査結果については、個票を直接公開することはありません。改訂版マスタープランは、平成 23 年 10 月初めの日本学術会議総会までのなるべく早い時期にまとめる予定です。

3. 今回の調査対象

カテゴリA：大型施設計画について

調査対象は、総額が数十億円以上の施設の建設（装置、設備等を含む。運営費は除く）を行う大型研究施設の計画。

カテゴリB：大規模研究計画（大型施設計画は除く）について

調査対象は、科学研究費補助金等では実施が困難であり、個別研究プロジェクトの枠を超えた大分野の根幹となる、総額が数十億円以上（設備、ネットワーク構築、データ集積、運営費等の経費）の大型研究計画。

4. 募集期間

平成 22 年 9 月 24 日（金）～平成 22 年 12 月 22 日（水）

5. 回答方法

カテゴリAは、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0017.html>

カテゴリBは、URL <https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0018.html>

よりご回答下さい。

（計画が複数ある場合は、計画 1 つずつ、URL にご記入下さい）